

令和5年度第2回

朝霞市障害者自立支援協議会専門部会（地域生活支援拠点）

次 第

日 時 令和5年7月28日（金）
午後2時00分から
会 場 朝霞市民会館（ゆめぱれす）301会議室

1 開 会

2 議 題

- （1）委員の変更及び部会長・副部会長の選出について
- （2）現在の朝霞市地域生活支援拠点等事業の登録状況について
- （3）障害福祉関係者交流会の報告
- （4）施設見学会等の検討について
- （5）今後の拠点部会について
- （6）その他

3 閉 会

朝霞市障害者自立支援協議会専門部会（地域生活支援拠点部会）委員名簿

令和5年7月28日現在

氏名	所属等
相談支援事業者	
さいとう かずみ 齋藤 和美	特定非営利活動法人キラキラ代表理事
のほら えりこ 野原 絵里子	みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター相談支援専門員
障害福祉サービス事業者	
なかむら としや 中村 敏也	株式会社SHUHARI(元気キッズ)代表取締役
ながつか きとる 長塚 寛	あさか向陽園副園長
えがわ かずき 江川 和宣	社会福祉法人愛隣館(グループホームつぐみ)世話人
教育又は雇用関係者	
おやざき じゅんじ 親崎 惇司	和光南特別支援学校進路指導主事
うちだ たつや 内田 達也	朝霞市商工会理事
障害者団体の代表者	
なかむら まきこ 中村 真喜子	特定非営利活動法人朝霞市心身障害児・者を守る会会員

朝霞市地域生活支援拠点等事業所一覧

No.	登録年月日	申請者（法人名等）	名称	所在地	連絡先	事業の種類	担う機能				
							①	②	③	④	⑤
1	令和4年4月1日	社会福祉法人高栄会	ひまわり工房	朝霞市大字宮戸17番地	048-487-7916	生活介護 就労継続支援B型			○	○	
2	令和4年4月1日	社会福祉法人高栄会	相談支援事業所ひまわり	朝霞市大字宮戸17番地	048-487-7917	計画相談支援 障害児相談支援	○				○
3	令和4年4月1日	株式会社彩友	相談支援センターさいゆう	朝霞市根岸台6-9-9-A号室	048-424-8929	計画相談支援	○				○
4	令和4年4月1日	株式会社彩友	ポコポコブカブカ	朝霞市本町1-8-7-2F	048-458-0690	就労継続支援B型 自立訓練（生活訓練）			○		○
5	令和4年4月1日	NPO法人キラキラ	相談支援事業所キラキラ朝霞	朝霞市本町1-7-17ツイ ンズハウスⅡ101	048-423-6750	計画相談支援 障害児相談支援	○			○	○
6	令和5年7月1日	社会福祉法人 朝霞市社会福 祉協議会	はあとびあ障害者相談支援セ ンター	朝霞市大字浜崎51番地の1	048-486-2400	計画相談支援 障害児相談支援	○				○
7											
8											
9											
10											

※担う機能について

①相談 ②緊急時の受入れ・対応 ③体験の機会・場 ④専門的人材の確保・養成 ⑤地域の体制づくり

「障害福祉関係者みんなで考える交流会
～地域で安心して暮らし続けるために～」

次 第

日 時 令和5年6月1日(木)午前9時30分から
会 場 朝霞市産業文化センター 集会室兼研修室

1. あいさつ

2. 【第1部】朝霞市地域生活支援拠点等事業について

協力: 相談支援センター さいゆう 小川 憲司 氏

3. 【第2部】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について

協力: 朝霞保健所 保健予防推進担当 齊藤 富美代 氏
(株)ウエルビー朝霞台駅前センター 出井 誉浩 氏
くろめがわ訪問看護ステーション 角野 修治 氏
特定非営利活動法人つばさ会あゆみ 本橋 操 氏

4. グループワーク

5. 交流会(自由参加)

【参考】

参加者数…51名

◆内訳

相談支援事業所職員…13名

医療関係者(実習生3名含む)…17名

障害児者福祉施設職員…21名

「障害福祉関係者みんなで考える交流会～地域で安心して暮らし続けるために～」
グループワークシート 兼 交流会終了後アンケート 結果報告

当日出席者数:51人
アンケート回答数:23人
アンケート回収率:45.1%

資料③

【第1部:地域生活支援拠点等事業について】

所属	相談支援事業所職員	医療関係者	障害児者施設職員
内容の理解	①とても理解できた 2 ②だいたい理解できた 4 ③どちらでもない 1 ④あまり理解できなかった 0 ⑤理解できなかった 0	①とても理解できた 1 ②だいたい理解できた 2 ③どちらでもない 1 ④あまり理解できなかった 0 ⑤理解できなかった 0 無回答 1	①とても理解できた 3 ②だいたい理解できた 7 ③どちらでもない 0 ④あまり理解できなかった 1 ⑤理解できなかった 0
感想や気づき、持ち帰りできること	<ul style="list-style-type: none"> ・できるところができる範囲で行うこと。 ・みんなで少しずつ担っていくことが大事。他事業所と連携図りたい。(3件) ・(登録済みだが)改めて機能の確認ができた。 ・(登録済みだが)実際には機能していないため、実践例を聞いてよかった。 ・この講義を聞いた事業所の方々の心に響き、登録してくれる事業所が増えることを願う。 ・地域活動支援センターが活動場所として選択できること(支給決定なしで使える。)知った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴や他の事業所がどのような支援、活動をしているか知ることができた。(3件) ・自身の医療機関の存在を認知してもらっていなかったと知った。今後も交流の場に積極的に参加し、存在を少しでも知ってもらおう努力をしたい。 ・朝霞市に事業所を置いていることを再認識し、スタッフと今より何かできるよう考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所や通所などの機能を活かしたい。 ・今までやってきたことを地域で暮らす障害者への居住支援という切り口で整理しようという意味だと理解した。 ・地域の中で自分の事業所がどう役割を担い存在していくのか改めて確認しあうことが大事。 ・事業所が単独で頑張るのではなく、連携の姿勢で動きたい。 ・孤立事例の表面化に備え、社会資源の整理が必要。小さい単位で選択肢が増えるのが理想。 ・緊急時の受け入れ対応が0だという現状。そのうえで福祉サービスにつながっていない方たちがいる状況。 ・参加したいが、自身の施設運営がどうなるかわからない中で受けられず申し訳ない。 ・体験の機会・場を担うにはスペースが必要。現状から新たに役割は担えない。 ・新たなスペース確保のため、担当課から物件や家賃補助等のサポートほしい。 ・市のバックアップ何か知りたい。 ・市内に日中支援型のGHができていますが、緊急の受け入れができない・拠点登録に至らないのはなぜか。 ・GH側として不安強い。設備、職員配置基準、金銭面で余裕なくハードル高い。

【第2部:精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について】

所属	相談支援事業所職員	医療関係者	障害児者施設職員
内容の理解	①とても理解できた 2 ②だいたい理解できた 4 ③どちらでもない 1 ④あまり理解できなかった 0 ⑤理解できなかった 0	①とても理解できた 2 ②だいたい理解できた 2 ③どちらでもない 1 ④あまり理解できなかった 0 ⑤理解できなかった 0	①とても理解できた 4 ②だいたい理解できた 6 ③どちらでもない 1 ④あまり理解できなかった 0 ⑤理解できなかった 0
感想や気づき、持ち帰りできること	<ul style="list-style-type: none"> ・「のりしろ支援」がわかりやすかった。(3件) →少し気持ちが楽になった。新しい観点を明示された。 ・サービスに当てはまらない人や本人の拒否で支援につながらない人等にも、地域としてかかわっていけるシステムは重要。 ・サービス終了後の関わりとして、こういう支援があると利用者にも周知していけると良い。 ・もともと、相談支援員の業務の境目がわかりにくいいため、業務範囲の再確認と多職種との風通しのいい関係作りが必要。 ・「地域生活支援拠点」と「包括支援」の内容がリンクしていて違いが理解しにくい。もっと知識を深めたい。 ・情報収集して社内研修に生かしたい。 ・緊急時の対応・受け入れについて、様々なサービスとの結びつきが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「のりしろ支援」がわかりやすかった。 ・本人に合う支援を考えるうえでも支援機関同士のつながりが大切だと感じた。 ・本人はもちろん、家族にも問題や困りごとを抱えている方も数多い。家族がすべて抱え込まないように地域支援体制を作ることが大切。 ・病院として第一次の受け入れや相談業務が今後実施できる。 ・小児や少年期の若年層対応しておらず、児童発達支援サービスの職員との話の中で、病院として緊急時の一時受け入れの相談窓口として役割を果たすことができたらいい。 ・具体的な事例の中で、結果的にどこどこが連携し、他にどんなサービスを利用したらいいかわからなかった。 ・発表者以外にもう一人出席することができればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「(施設の)のりしろ支援」という言葉に考えさせられた。(5件) ・「のりしろ支援」をスムーズにする方法、事例など知りたい。 ・日々支援しているからこそ見える「本人が表出できないニーズ」(3件) ・必要な治療や支援につなげるためには、何より信頼関係を築くことが大事との話が印象的だった。(2件) →本人に安心し、ダメな部分も出してもらうことで、本人の状態像を把握できたらいい。 ・保健所や医療機関と連携して、体験の機会、福祉教育など協力できる、したいと思った。(2件) ・新たに関わる人の視点が大事だと共通認識しておきたい。 ・退院時支援の難しさを現場で感じる。 ・各施設で真っ向から日々対応していることが励みになる。 ・横のつながりで共有できたら、朝霞市の障害者支援の全体のスキルアップにつながると思えた。(2件) ・家族に精神障害者がいることを表面化することを避けてさらに悪化する場合がある。診断する立場にある人が家族に資源を提供できるようになることで、表面化を恐れなくなればいい。 ・「にも包括」という略語を初めて知った。 ・知識・理解はあるが、児童福祉とつなげるイメージが結び付かなかった。 ・自身の精神障害者に対するイメージは変わらなかった。もっと精神障害の専門知識を持った支援者を増やすことが重要。 ・「なんでもいいからやってみれば」「のりしろがあるでしょ」はそう思えない。

【グループワーク】			
所属	相談支援事業所職員	医療関係者	障害児者施設職員
①これまで支援の中で大変だったこと。グループワークを通して共感できたこと、アドバイス等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者との信頼関係。どこまで利用者に寄り添えばいいか判断に迷う。 自分は感覚がマヒして「大変」が何かわからなくなっている。解決するために一人では抱え込まない、押し付けない、流れに任せることができるようになってきたから、大変と思わなくなってきた。 独居でキーパーソンもいない精神障害者の支援は相談員の心構えもわからなくなることがあり大変。 重度知的障害者、精神障害者とのコミュニケーションの難しさ。実際の支援に当たることや考えていることが汲み取れているか心配だった。 <ul style="list-style-type: none"> →表情や動きをよく見て判断。周りの職員と連携し、支援の統一を図る。 困難ケースとして多職種で連携できていたが、利用者の依存ができてしまった。 <ul style="list-style-type: none"> →事業所を変更することで対応。 児童の場合、親との関係性を築くことも必要。対児童でも敬語で接することを好意的に思う人や堅苦しく思う人などそれぞれで思いを読み解くのが難しい。 希望している職場につないであげたいが、実際は本人に適さない場合の自己決定支援をどう扱うか難しい。 サービスが終了した後のケアとして委託の基本相談や地活につなげていく。 精神科への入退院を繰り返しているケースの場合、GHIに戻れないことがある。そのたびに見学等の調整をするのが大変だが、家族はそのたびに契約や引っ越し等しなければならぬので相談より負担が大きいと思う。本人が長期入院を望んでもできないのが現状。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方向けに「就活イベント」のようなブースを作って紹介してみるのはいかがでしょうかという意見が出た。 訪問看護において、病院から直接引き継ぎ、地域のどこに相談したらよいかわからなかった。本人主体で相談がないと相談事業につながらないことが大変だった。 医療的ケアが必要な児や障害児の親に問題がある場合の支援のむずかしさ。 子育て支援について、母が精神疾患を持っている場合に出産後に受診することが難しいケースがある。授乳中の母は服薬に慎重になると知り、今後の支援に生かしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者との適度な距離感を保って支援する大切さや難しさに共感。 <ul style="list-style-type: none"> →気持ちを伝えることが苦手な方への支援、どのような表現が伝わるか模索すること、支援がまとまらない、本人が壊す、保護者の理解・協力が得られない、支援者同士が分かりあえない等。 きれいにまとまったケースや面談はこれでよかったのか、うまくまとまらなくても思いがお互いに出せて再度ケースとして出てこなかったならいいのか。支援者としての達成感はどこに置けばよかったか。 コロナ禍で受け入れ制限をしていた頃、「緊急やむを得ない事情」の妥当性を判断することに迷ったり、長期利用、児相による一時保護を初めて受け入れたり、戸惑いの連続だった。 精神疾患のある母が児童のあらゆる支援をすべて断ち切ってしまったケースの支援。祖母との関係を構築し、子育て支援センターへの来館を促し、フォローした。 本人と親のニーズが必ずしも合致せず、間に挟まれる。 <ul style="list-style-type: none"> →本人と親、それぞれに話を聞き、他機関と連携できるといい。 本人の気持ち、日頃の様子が明確に伝わらないまま事業所につながったケース。結果として良い方向に向かうことが少ない。表面化している様子がある程度良くても、日常が明確に伝わらないとニーズに沿えず、負荷がかかる。 地域生活支援事業施設だからか、一度も施設に状況を聞きに来ない相談員がいる。別の施設へ移動する人がいて、今までの経過をまとめておいたが、一切聞かれることがなかった。 障害者福祉の給付費や加算が安すぎる。余裕が持てないのでほかに頼れない。 「この地域なら大丈夫」という言葉。どうしても家庭や施設での安定を模索しがちだが、利用者がそう思えるようになればいいと思った。
②自身の考える朝霞市の障害福祉に関するビジョンは？	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会で障害福祉に関する様々なことが検討されるとよい。(2件) 多職種の連携。福祉課、行政も一つのチームとして入ってもらえると助かる。 表立って出てこない方、障害がない方でも情報が得られる仕組み。(2件) ワンストップで相談できる機能。(2件) 障害のある方が市内のいろいろな方に支えられ、一人でも安全に歩けるような市内になるといい。 様々な事業所が機能し、住民の方の理解もあり、支援員の困りごとはすぐにどこかに相談でき、つなげることができる体制が整っている市。 短期入所等が増えるといい。 障害者に対して理解のある病院(例:知的障害者でも一般病棟に入院できる)ができるなど、医療と福祉の連携強化。 24時間対応可能な市としてPRできる仕組みを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護は「病院(入院機関)」と「在宅生活」の橋渡し。在宅での情報が病院にどのように正確に伝えられるか、医療保護や措置になる前に「早期に任意で短期間」入院をしてほしいと考えている。 障害者が必要なサービスを選択し、自立して生活できるようコーディネーターがオープンになり、様々な職種でディスカッションしていけるようになったら良い。 医療的ケアが必要な子供とその家族が地域で安心して生活や仕事をできる支援体制が整うこと 支援から漏れる人がいないような体制を組めることが理想。そのためにも支援の網に穴が開かないようつながっていくことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの事業所名、病院名、役割を知ってもらいたい。周知し、つないでいくことが、支援を必要とする方々を支える仕組みづくりにつながる。 地域の顔が見える関係性を広げることが重要。(2件) 常に同じ支援者が一生関われないため、自分の手を離れたとしても、別の機関が関わるから大丈夫だと思える朝霞市になったらいい。 朝霞市の収入増から、社会福祉関係予算を増やすような取り組みが必要。 小回りのきいた「のりしろ」を育てられるよう、連携が取りやすいサービスの共同体を当事者・支援者・市民で作っていけること。 利用者の「こんな暮らし(育む、働く、住む)がしたい」にあわせて選べるのがいい。(2件) 利用者や家族が深く考えることなく、市内の店舗や施設を利用できること。(家族の意識改革) 施設運営の安定。施設や職員の安定が第一。職員が給与等納得して働ける環境がない限り、利用者の不安定、虐待等はなくなるない。 「自助・共助・公助」のバランスを保つため、福祉サービスの担い手だけでは足りない部分を仲間を増やしていく仕組みが必要。 隙間を埋める社会資源の底上げ、施策に組み込む仕組みが必要。 発達障害や貧困家庭等の情報弱者へ幅広く支援の手が広がるといい。 Plan Do See 福祉と教育、医療がつながっていくサイクルの形成。

【グループワーク】続き			
所属	相談支援事業所職員	医療関係者	障害児者施設職員
③今後の関係者間交流についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に実施してほしい。(2件) ・多職種の方との話し合いの場は有意義だった。(4件) ・第1部のセミナーのようなものは時間短縮で、交流会メインがいい。 ・交流会に参加した事業所の皆さんにとって、比較的役割が小さい(負担が少ない)という実施形態に好感が持てた。 ・放課後等デイサービスや成人施設の参加がないのが気になった。参加してもらいたい。 ・各事業所の立場から見た他事業所の在り方や、どういう情報提供、連携をとっていきたいか知れたらいい。 ・学校と福祉(児発・放デイ)の交流も行ってみたい。 ・参加者数や参加後の皆さんの様子から市のポテンシャルを感じたので、これらをどのように生かすのかが次の課題になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に実施してほしい。(4件) ・訪問看護の事業所なので、夕方18時以降だとスムーズに参加できる。 ・事案から様々な職種で意見を出し合い、計画書を作成してみたい。 ・グループワークの時間が少なかった。グループワークメインに多方面の情報収集がしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に実施してほしい。(7件) ・年に2～4回程度の実施があると現状の共有がしやすい。 ・相談支援専門員や精神障害との関りが深い方、医療福祉に携わる方と交流できてよかった。このように集まる機会が増えるとよい。 ・今回は施設長が参加したが、次回は職員に参加してもらおうと思った。次の世代の支援員、相談員、関係機関の職員の横のつながりが必要。 ・同業の職種の方々と意見交換ができる場があるといい。 ・異業種との「困りごと」を出し合う機会も定期的で開催されたらありがたいが、アンケートで出た困りごとをテーマに「みんなで考える」ことができる交流会の開催も望む。 ・こども部会、児童との関わりを持つ交流会や研修会をやるべき。児童福祉については、教育とのつながりが必要なので、その機関とつながりたい。 ・成人・子供・GH等細分化して部会を考えてほしい。 ・このアンケート結果をどう活用するのか、見えてきた課題の整理や②の意見を集約し、朝霞市としてどのように考えるのかバックしてほしい。 ・ライフステージにあわせての現段階での社会資源の整理もしておきたい。 ・1, 2時間おきに休憩を挟んだほうがいい。



「今後の課題、検討事項」	具体的な方針や方策
①定期的な交流の機会を設ける必要あり。(頻度、開催)	
②事業所らが抱える課題にどのように関与していける仕組みが作れるか。	
③朝霞市でできる「のりしろ支援」のイメージを全体で共有。関係機関への周知が必要。	
④コーディネーターや中核機関の存在への期待に何が出来るか。	

障害福祉関係者みんなで考える交流会 当日写真



資料④

地域生活支援拠点等に必要な機能の実施状況の把握

事業所名 _____

* 1 : 効果的に実施している = ○、実施しているが有効ではない = △、実施していない = ×

項目		状況 * 1	今後の方針
運営全般に関するもの			
拠点等の組織・運営体制・担当する区域におけるニーズの把握を行っているか			
1	拠点等の整備方針の基本理念の検討、関係者間の共有化が図られているか		
2	拠点等と市の役割分担、管内で統一することが望ましいルールの設定、地域課題の抽出方法（アセスメント）等が検討できるように協議会等における運営方針が定められているか		
3	拠点等と市等の連携のための連絡会議を定期的開催しているか		
4	必要な機能等の運営における定義付けの検討が行われているか		
5	支援者間の連携が効果的に行われているか		
6	関係機関等との連携の向上、調整、合意形成に努めているか		
7	各種課題に対する連携意識の醸成に努めているか		
8	拠点等を地域になじみやすい名称で周知しているか		
9	地域づくりやまちづくりを目指した障害福祉を推進しているか		
10	自然災害発生時における対応方針や過疎地域等の移動支援に対する支援等、地域性を踏まえているか		
地域ごとのニーズに応じて重点的に行うべき業務の方針		状況	今後の方針
11	重度、高齢化、独居世帯等の障害者等の生活状況の確認を行っているか		
12	社会的活動（ボランティア等）を希望する障害者等の把握に努めているか		
障害福祉サービス等事業所・医療機関・民生委員・ボランティア等の関係者とのネットワーク（地域社会との連携及び専門職との連携）構築の方針		状況	今後の方針
13	障害者等や地域住民を含め地域の関係者を集めて、協議会で把握した地域の課題を共有するための勉強会やワークショップ等を開催しているか		
14	障害福祉・介護・医療等の多職種が集まる研修会への参加を促進しているか		
個人情報保護		状況	今後の方針
15	支援者間において、市が定める個人情報保護の規定を踏まえた対応が図られているか		
利用者満足の向上		状況	今後の方針
16	相談や苦情に適正に対応できる体制となっているか		
17	安心して相談できるようプライバシーの確保が行われているか		
公正、公平性・中立性の確保		状況	今後の方針
18	公正、公平性・中立性の観点から、適切に障害者等の受け入れを行っているか		
19	公正、公平性・中立性に配慮して、障害福祉サービス事業所等の紹介を行っているか		
20	障害福祉サービス等事業所、相談支援事業所を紹介した経緯を記録しているか		
21	協議会等への報告、説明等に協力しているか		

個別機能に関するもの		状況	今後の方向性
相談			
22	障害者等やその家族の相談には各制度とも十分に連携しながらワンストップで対応しているか		
23	個別相談を受ける体制の確保（相談窓口の設置等）しているか		
24	相談内容ごとに対応状況の進捗管理ができていますか		
25	運営に当たっては、緊急時の対応等も想定し、支援者に対して速やかに連絡が取れるような体制を整備しているか（必ずしも24時間体制を採る必要はない）		
26	緊急相談への発展が危惧されるような事案を事前に把握し、問題が顕在化する前に対応できる取組みを行っているか		
27	相談を受けた後の対応（紹介）の仕組みを構築しているか		
28	切れ目のない包括的な障害福祉・介護・医療の連携体制を構築しているか		
緊急時の受け入れ・対応		状況	今後の方針
29	「緊急時」の定義付けを行い、緊急時の対応（定義外の対応を含む。）について、具体的な方法を定めているか		
30	本人の家族状況、障害特性、服薬情報、経済状況等を事前に登録する仕組みの活用を検討しているか（その際、受け入れ制限をしていないか）		
31	緊急時の受け入れ後、サービス利用計画等の見直しを行っているか		
32	各事業所（関係機関等を含む。）間の当番制による緊急時の受け入れ・対応を図っているか		
33	重度障害者も含めた緊急時における常時の受入体制が確保できているか		
34	短期入所のうち、緊急時の受け入れ枠を確保しているか		
35	短期入所の事業所数が少ない場合、共生型サービスの活用も含めた検討を行っているか		
体験の機会・場		状況	今後の方針
36	空き家・公民館等を最大限活用しているか		
37	障害特性に配慮した体験の場を確保しているか		
38	緊急時を想定した体験利用を行っているか		
39	地域住民との交流の場、社会参加の機会を確保しているか		
40	障害者等やその家族の意向に沿った体験の機会・場を確保できるように、関係機関等で連携しているか		
41	各事業所（関係機関等を含む。）間の当番制による機会・場を確保しているか		
専門的人材の確保・養成		状況	今後の方針
42	障害者等の重度化・高齢化に対応できる人材を確保・養成するため、専門的な研修等の機会を確保しているか		
43	協議会等で専門的な人材の確保・養成に係る方針や計画を十分に検討しているか		
地域の体制づくり		状況	今後の方針
44	地域の多様な社会資源の開発や最大限の活用を視野に入れた必要な体制を構築しているか		
45	各拠点等の必要な機能を活かし、地域全体で地域生活支援を可能とする体制を構築しているか		

(様式2) 必要な施設及び運営状況の評価指標に係るチェックリスト

I 地域生活支援拠点等の機能に関する評価指標

(a) 【英文訳者の業務範囲及び体制】 緊急対応など支援が必要となる状況等時 (保健行動計画策定や緊急的ケアが必要な重症度の身体障害者、重症障害児等) の

評価項目	評価指標	評価状況 (各記号)																					
a-01 複点コピーマシーナーの設置	a-01① 複点コピーマシーナーを設置しているか	◆施設事項1: 複点コピーマシーナーの設置場所と設置人数 (常駐・非常駐別)																					
		<table border="1"> <tr> <th>設置場所</th> <th>常駐</th> <th>非常駐</th> </tr> <tr> <td>1. 高齢者支援センター</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2. 市町村障害者相談支援事業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3. 障害児福祉支援事業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4. グループホーム、障害者支援施設、福祉施設</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>5. 自立支援センター</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>6. 複点複写機の設置場所・設置数</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	設置場所	常駐	非常駐	1. 高齢者支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 市町村障害者相談支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 障害児福祉支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. グループホーム、障害者支援施設、福祉施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 自立支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 複点複写機の設置場所・設置数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		設置場所	常駐	非常駐																			
		1. 高齢者支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
2. 市町村障害者相談支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
3. 障害児福祉支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
4. グループホーム、障害者支援施設、福祉施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
5. 自立支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
6. 複点複写機の設置場所・設置数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
◆施設事項2: 複点コピーマシーナーの設置場所と設置人数 (専任・兼務別)																							
<table border="1"> <tr> <th>設置場所</th> <th>専任</th> <th>兼務</th> </tr> <tr> <td>1. 高齢者支援センター</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2. 市町村障害者相談支援事業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3. 障害児福祉支援事業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4. グループホーム、障害者支援施設、福祉施設</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>5. 自立支援センター</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>6. 複点複写機の設置場所・設置数</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>		設置場所	専任	兼務	1. 高齢者支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 市町村障害者相談支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 障害児福祉支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. グループホーム、障害者支援施設、福祉施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 自立支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 複点複写機の設置場所・設置数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
設置場所	専任	兼務																					
1. 高齢者支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
2. 市町村障害者相談支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
3. 障害児福祉支援事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
4. グループホーム、障害者支援施設、福祉施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
5. 自立支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
6. 複点複写機の設置場所・設置数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
【1】否でいい/【1】-設置していい/【1】未設置でいい/【1】未設置でいい																							
a-02 緊急時の支援が見込まれない障害者等の支援・名称管理等	a-02① 緊急時の支援が見込まれない障害者等を職員等として育成しているか	◆施設事項: 複点コピーマシーナーが置かれている施設内等 (該当するものに○)																					
		緊急時の支援が見込まれない等の状況(常駐・非常駐別)																					
		緊急時の支援がみ込まれない等の状況(複点コピーマシーナーが置かれている施設内等)																					
		緊急時の支援がみ込まれない等の状況(複点複写機が置かれている施設内等)																					
		緊急時の支援がみ込まれない等の状況(複点複写機が置かれている施設内等)																					
		緊急時の支援がみ込まれない等の状況(複点複写機が置かれている施設内等)																					
		緊急時の支援がみ込まれない等の状況(複点複写機が置かれている施設内等)																					
【1】否でいい/【1】-設置していい/【1】未設置でいい/【1】未設置でいい																							
a-03 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の支援・名称管理	a-03① 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等を職員等として育成しているか	◆施設事項: 事前に把握している対象者の状況 (該当するものに○)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
【1】否でいい/【1】-設置していい/【1】未設置でいい/【1】未設置でいい																							
a-04 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の支援・名称管理	a-04① 「緊急時の受け入れ・対応」の実施体制との間で情報共有できているか	◆施設事項: 事前に把握している対象者の状況 (該当するものに○)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
【1】否でいい/【1】-設置していい/【1】未設置でいい/【1】未設置でいい																							
a-05 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の支援・名称管理	a-05① 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等を職員等として育成しているか	緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
【1】否でいい/【1】-設置していい/【1】未設置でいい/【1】未設置でいい																							
a-06 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の支援・名称管理	a-06① 緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等を職員等として育成しているか	緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
		緊急時に対応した緊急時の支援がみ込まれない障害者等の状況(緊急時・非常時)																					
【1】否でいい/【1】-設置していい/【1】未設置でいい/【1】未設置でいい																							

①) 【相換制度】 既開した募集枠など支店が必要な調整等からの募集枠をむね募集枠の増減

評価項目	評価内容	取組状況 (本年度)
b-01	募集枠として「相換」の募集枠の位置付け	<p>募集枠として「相換」を行う募集枠を位置付けているか</p> <p>b-01①</p>
b-02	募集枠として「相換」の募集枠における募集枠の相換枠の増減	<p>24時間の相換枠を確保しているか</p> <p>b-02①</p>
b-03	募集枠において「相換」に関わる募集枠の人員に不足はないか	<p>募集枠において「相換」に関わる募集枠の人員に不足はないか</p> <p>b-03①</p>
b-04	募集枠において「相換」の募集枠の増減	<p>募集枠において「相換」の募集枠の増減は適切に把握しているか</p> <p>b-04①</p>

②) 【募集枠の受け入れ・対応】 既開した募集枠など支店が必要な調整等からの募集枠の受け入れの確保

評価項目	評価内容	取組状況 (本年度)
e-01	募集枠の受け入れ・対応のルール策定	<p>「募集枠」の募集枠や募集枠の受け入れルールを策定し、関係部署に周知しているか</p> <p>e-01①</p>
e-02	募集枠の受け入れ・対応のルール策定	<p>「募集枠」に適切に対応するためのマニュアルやフローチャートなどを策定し、関係部署に周知しているか</p> <p>e-01②</p>
e-03	募集枠の受け入れ・対応のルール策定	<p>「募集枠」の募集枠や募集枠の受け入れルールを策定し、関係部署に周知しているか</p> <p>e-02①</p>
e-04	募集枠の受け入れ・対応のルール策定	<p>「募集枠」の募集枠や募集枠の受け入れルールを策定し、関係部署に周知しているか</p> <p>e-02②</p>
e-05	募集枠の受け入れ・対応のルール策定	<p>「募集枠」の募集枠や募集枠の受け入れルールを策定し、関係部署に周知しているか</p> <p>e-02③</p>

(4) 【地域移行のニーズ把握】 障害者等の入所施設や精神科病院等からの地域生活への移行や地域生活の継続についてのニーズの把握

評価項目	評価指標	達成状況（実数値）
4-10	入所施設・精神科病院等からの地域移行に係るニーズの把握状況について（1）	<p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：実施した地域移行のニーズ調査（該当するものに○）</p> <p>入所施設に入居している障害者等の数の把握</p> <p>精神科病院に長期入院している障害者等の数の把握</p> <p>精神科病院にも対応した地域移行プログラムの実施に関する調査</p>
4-12	入所施設・精神科病院等からの地域移行に係るニーズの把握状況について（2）	<p>4-10(1)</p> <p>入所・入居中の障害者等一人ひとりの地域移行のニーズについて、本人のもとへ訪問して面談する等を行い、施設コーディネーター等が中心となって把握しながら計画書の項目直前直前把握しているが、また、地域移行支援等、地域移行や移行後の生活を支える社会資源等について把握を行っているが、</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：実施した地域移行のニーズ（該当するものに○）</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>施設等からの直立や一人暮らしに向けた地域移行等</p> <p>施設等の対応を調査した把握状況</p> <p>民間事業者の把握状況</p>
4-13	在宅の障害者等の地域生活継続の支援ニーズを把握しているか	<p>4-10(1)</p> <p>在宅の障害者等の地域生活継続の支援ニーズを把握しているが</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：実施した地域移行のニーズ（該当するものに○）</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>一人暮らしに向けた把握状況</p> <p>施設等の対応を調査した把握状況</p> <p>民間事業者の把握状況</p>

(5) 【地域の健全・地の豊潤】 把握した地域生活への移行や継続のニーズを踏まえた地域生活の継続支援等の実施

評価項目	評価指標	達成状況（実数値）																																
4-11	地域移行に係るニーズの把握状況について（1）	<p>4-10(1)</p> <p>施設等として「地域の健全・豊」を認識しているか</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項1：「地域の健全・豊」に関する実施計画の作成</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 短期入居型施設</td> <td>計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>2. プログラム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 直立自立支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 民間事業者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 障害児施設等の連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. その他</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆把握事項2：対象者の範囲（該当するものに○）</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>一人暮らしに向けた把握状況</p> <p>施設等の対応を調査した把握状況</p> <p>民間事業者の把握状況</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：実施した地域移行のニーズと重点等における実施</p> <table border="1"> <tr> <td>1. プログラム</td> <td>地域移行の調査実施</td> <td>（うち）</td> <td>計画書作成</td> <td>計画の実行実施</td> </tr> <tr> <td>2. 一人暮らしに向けた支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 施設等の対応を調査した把握状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 民間事業者の把握状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：重点1を調査実施に向けた把握状況</p>	1. 短期入居型施設	計画書の作成	2. プログラム		3. 直立自立支援		4. 民間事業者		5. 障害児施設等の連携		6. その他		1. プログラム	地域移行の調査実施	（うち）	計画書作成	計画の実行実施	2. 一人暮らしに向けた支援					3. 施設等の対応を調査した把握状況					4. 民間事業者の把握状況				
1. 短期入居型施設	計画書の作成																																	
2. プログラム																																		
3. 直立自立支援																																		
4. 民間事業者																																		
5. 障害児施設等の連携																																		
6. その他																																		
1. プログラム	地域移行の調査実施	（うち）	計画書作成	計画の実行実施																														
2. 一人暮らしに向けた支援																																		
3. 施設等の対応を調査した把握状況																																		
4. 民間事業者の把握状況																																		
4-12	地域移行に係るニーズの把握状況について（2）	<p>4-10(2)</p> <p>認識している場合、対策となる計画等の範囲・場所は二二次に限らず十分なものとなっているか</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：実施した地域移行のニーズと重点等における実施</p> <table border="1"> <tr> <td>1. プログラム</td> <td>地域移行の調査実施</td> <td>（うち）</td> <td>計画書作成</td> <td>計画の実行実施</td> </tr> <tr> <td>2. 一人暮らしに向けた支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 施設等の対応を調査した把握状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 民間事業者の把握状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項：重点1を調査実施に向けた把握状況</p>	1. プログラム	地域移行の調査実施	（うち）	計画書作成	計画の実行実施	2. 一人暮らしに向けた支援					3. 施設等の対応を調査した把握状況					4. 民間事業者の把握状況																
1. プログラム	地域移行の調査実施	（うち）	計画書作成	計画の実行実施																														
2. 一人暮らしに向けた支援																																		
3. 施設等の対応を調査した把握状況																																		
4. 民間事業者の把握状況																																		
4-13	地域の健全・豊の認識	<p>4-10(1)</p> <p>施設等として「地域の健全・豊」を認識しているか</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項1：「地域の健全・豊」に関する実施計画の作成</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 短期入居型施設</td> <td>計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>2. プログラム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 直立自立支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 民間事業者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 障害児施設等の連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. その他</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆把握事項2：対象者の範囲（該当するものに○）</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>一人暮らしに向けた把握状況</p> <p>施設等の対応を調査した把握状況</p> <p>民間事業者の把握状況</p>	1. 短期入居型施設	計画書の作成	2. プログラム		3. 直立自立支援		4. 民間事業者		5. 障害児施設等の連携		6. その他																					
1. 短期入居型施設	計画書の作成																																	
2. プログラム																																		
3. 直立自立支援																																		
4. 民間事業者																																		
5. 障害児施設等の連携																																		
6. その他																																		
4-14	地域の健全・豊の認識	<p>4-10(1)</p> <p>施設等として「地域の健全・豊」を認識しているか</p> <p>【 】十分できていない／【 】一部把握できている／【 】全くできていない</p> <p>◆把握事項1：「地域の健全・豊」に関する実施計画の作成</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 短期入居型施設</td> <td>計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>2. プログラム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 直立自立支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 民間事業者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 障害児施設等の連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. その他</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆把握事項2：対象者の範囲（該当するものに○）</p> <p>プログラムの実施状況</p> <p>一人暮らしに向けた把握状況</p> <p>施設等の対応を調査した把握状況</p> <p>民間事業者の把握状況</p>	1. 短期入居型施設	計画書の作成	2. プログラム		3. 直立自立支援		4. 民間事業者		5. 障害児施設等の連携		6. その他																					
1. 短期入居型施設	計画書の作成																																	
2. プログラム																																		
3. 直立自立支援																																		
4. 民間事業者																																		
5. 障害児施設等の連携																																		
6. その他																																		

(f) 【専門的人材の確保・育成】専門性の確保に向けた取組の取組

評価項目	評価内容	取組状況 (5段階)
f-01 専門性を高めるための人材育成 研修のニーズの把握及び実施	f-01① 専門的人材の確保・育成のニーズを把握しているか	<p>【 】十分できている / 【 】一部把握できている / 【 】全くできていない</p> <p>【 】実施している、又は実施予定 / 【 】ニーズが把握していたが研修に実施できなかった / 【 】ニーズがなかったため実施しなかった</p> <p>◆確認事項：拠点等の実施計画が策定している研修用（該当するものに○）</p> <p>実施行動計画への対応</p> <p>定期的ケアが必要な人への対応</p> <p>ひまこもりへの対応</p> <p>その他支援が困難な人への対応</p>
	f-01② 専門的人材の確保・育成の研修を実施しているか	
f-02 拠点等の実施計画からのニーズ を踏まえた研修後の活用又は 実施結果	f-02① 外部研修の情報収集や実施の施策を行っているか	<p>【 】十分できている / 【 】一部把握できている / 【 】全くできていない</p> <p>◆確認事項：具体的な取組内容</p>
	f-02② 収集した研修の情報を地域の関係機関等に情報提供しているか	

(g) 【地域の体制づくり】地域生活の安心の確保と地域生活への移行と継続を支えるための地域の体制づくりの取組

評価項目	評価内容	取組状況 (5段階)				
g-01 緊急時の受け入れ・対応のための 取組	g-01① 拠点コーディネーターが中心となって、緊急時の受け入れや対応に関する取組を実施しているか	<p>【 】十分できている / 【 】一部把握できている / 【 】全くできていない</p>				
	g-01② 連携先等において、緊急時の受け入れ・対応について対応できた事例や対応しきれなかった事例、地域課題等について取り扱われているか。					
g-02 地域移行・地域生活の継続支援 のための取組	g-02① 拠点コーディネーターが中心となって、入居・入居者からの地域移行に関することと連携するための関係機関・事業者による連携取組を実施しているか	<p>【 】十分できている / 【 】一部把握できている / 【 】全くできていない</p>				
	g-02② 連携先等において、入居、入居中者からの地域移行について対応できた事例や対応しきれなかった事例、地域課題等について取り扱われているか					
g-03 共通事項	g-03① 地域の協力関係が十分か、ニーズに対して地域の社会資源が不足している場合に、協力関係して連携先等所を調やす等、対応を講じているか	<p>【 】十分できている / 【 】一部把握できている / 【 】全くできていない</p>				
	g-03② 地域体制強化共同支援加算を算定しているか					
<p>◆確認事項：地域体制強化共同支援加算の算定状況</p> <p>1. 地域体制強化共同支援加算の算定月数</p> <p>2. 地域体制強化共同支援加算の算定回数</p>		<table border="1"> <tr> <td>算定月数</td> <td>算定回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	算定月数	算定回数		
算定月数	算定回数					
g-03③ 地域生活支援拠点を等として取り組んでいる、独自の活動や取組があるか		<p>◆地域生活支援拠点を等として取り組んでいる、独自の活動や取組があり、特色等＜自由記述＞</p>				

II 地域生活支援拠点等の運営状況に関する評価指標

①) 【地域生活支援拠点等の運営状況】 地域住民に対する認知・広報ならびに関係機関との連携体制の構築

評価項目		評価基準	評価状況(本年度)
h-01	地域住民に対する認知等の存在・広報の広報・認知	h-01① 拠点を位置づけている事業所名や相談窓口等を周知しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 認知事項、認知方法（該当するものにチェック） <input checked="" type="checkbox"/> 事業所のホームページに掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の広報誌への掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 役所の相談窓口において紹介 その他（具体的に：
h-02	市町村（連携先等）の役割	h-02① 拠点等の名称に当たって市町村別に担当者を配置し、協定や連携のメンバー（地域生活支援拠点等に位置づけられている機関の担当者等）と連携して関係の支援ニーズの対応状況について定期的（月に1～2回程度）に情報共有を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者が決まっている <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に連携している <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に連携している <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に連携している
h-03	関係機関との連携状況（依頼内容に位置づけられている関係団体の役割や、拠点以外の関係との連携を含む）	h-03① 地域生活支援拠点等の運営について、ホームページ上で市町村担当者に対して連携を取り合っている実態があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 連携している <input checked="" type="checkbox"/> 連携している <input checked="" type="checkbox"/> 連携している
		h-03② 施設①のホームページと担当者を合わせて、拠点等の名称やホームページ、チラシを揃って関係の支援ニーズの対応状況について定期的（月に1～2回程度）に情報共有しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 対応している <input checked="" type="checkbox"/> 対応している <input checked="" type="checkbox"/> 対応している

